

《巻頭言》

夏合宿

まきばの家施設長

小久保秀樹



小学6年生から中高生までの14名が参加し、夏合宿を行いました。流汗悟道とはいかないまでも、牧場作業におもいきり身体と頭を使い、気持ちの溢れることを期待しての夏合宿です。

初日、早速作業着に着替え、搾乳、外回り、エサやり、フンそうじなどの作業を行いました。昨年も参加したメンバーが多かったこともあり、エサのあげ方、フンのそうじの仕方、乳を仮搾りするときの手の動かし方など、こちらがあらためて伝えなくても、率先して作業を丁寧に行っており、その姿は逞しささえ覚えました。実は、夏合宿実行委員会を中心に、事前に大変頭を悩ましながら作業内容やグループ分けを考えます。気持ちが触れ合うようなやり取りがうまれたらいいなあ、と。

作業中、出産を控えていた和牛「赤羽」が産気づき、作業の手を止め、皆でジッとその瞬間を待っていました。そして無事、出産。「女の子」でした。産まれたばかりの仔牛はまだ弱々しく、母牛は仔牛のそばに行き、羊水で濡れている身体をなめていました。新しく誕生した「命」を大切に守っている瞬間です。その場で見ていたメンバーは、自分の小さい頃を重ね合わせて見ていたように感じました。

2日目の夕食は、牧草地で飯盒炊きさんをして、恒

例のカレーライスを作りました。皆で作った竹の香が漂う食器に、おこげも混ぜたご飯をよそい、カレーをかけます。輪になって食べた時のホッとした瞬間と言ったら、他では味わえない格別なものでした。夜はキャンプファイヤー。いきなりデンマーク牧場の4名の先住民が四方からあらわれ、「アッチャー、アッチャー」と祈りを捧げます。すると魔法でもかかったかのように炎が・・・あがりませんでした。残念。マジックファイヤーのはじめての失敗です。悔しい……。奇しくも神秘を感じられないキャンプファイヤーのスタートとなりましたが、それはそれで子どもたちに許されつつ、ゲームは盛り上がりました。その時の皆の楽しむ表情は普段では見られないものでした。その後グループごとに小さな火を囲んで、語り合いました。火を見つめる中で、家族と過ごしていた時の話になるなど、子どもの気持ちに触れる大切な時間になりました。

最終日。昨年に引き続き戦争について考えました。対話が叶わず戦争しなければならなかった背景とはなんだろう。戦時中の防空壕を訪れて、袋井市役所で行われている「戦争展」を見ました。戦時中に生きていた方々がどのような思いで暮らしをしていたのかを想像し、今を生きる私たちの生き方を問われたように思います。

日々、子どもと向き合いすぎて、突きつけ合い、互いに煮詰まり、窮屈な存在になっていたなと気づきました。夏合宿では一緒に汗をかく中で、子どもから助けられたり、新たな一面が見ることができたり、楽しいひと時を笑いあったりと、牧場や動物の持つ雄大さに包まれ、大いに助けられました。



《職員の声》

ルーテル社会福祉協会に参加して

特別養護老人ホーム「ディアコニア」

大倉 崇宏（介護主任）

2019年8月21日から22日、ルーテル学院大学にてルーテル社会福祉協会が行われました。私は初めてこの研修会に参加させていただき、ルーテル学院大学市川一宏学長の講演を聞いて、これからの社会福祉、高齢者福祉について考えることができました。日々、ケアをしていることは何を思ってやらなければならないのか、様々な情報を得て活かしていきたいと改めて思いました。

一番印象に残ったことは、個人の生活文化、生き方、思想、信条などの多様性を認めて、神を信じるか、信じないかに関わらず、倒れている人を助けようとする人はキリスト教にある隣人だと考えるということでした。福祉や高齢者に携わる者として、これは持たなければならないことだと思いました。福祉は形にすることは難しく、言葉では言い表しにくいことが多いからだと思います。また、自立の概念の変化というところでは、認知症と自立の捉え方を間違えないようにして、周りの職員と意見交換し、情報共有ができるといいと思いました。

介護の仕事や私たちの取り組みは、社会の一片を支えていると思えるような支援ができると思います。辛い事、しんどい事、嫌なことばかりよりも、やりがいのある仕事ができ、自分の持っている介護技術が発揮できる職場であると思います。そのためにやらなければならない事を整理し目標に向かって達成できる職場の雰囲気になれるといいなと思いました。

私たちの取り組みの一つとして高齢者と障がい者の共生型サービスを始めたことで、キリスト教社会福祉にまた一つ取り組むことができていると思いました。高齢者と障がい者が交わることでプラスに働き、いい刺激になるといいと思います。

新たに障がい者を受け入れることで社会福祉の幅を広げて考える事ができ、多く

の人との関りや交わりが増えました。新たな分野をプラスして取り組むことで私たちの役割が増え、支える人が考え、行動し、また一つ私たちの持つ力が大きくなったように感じます。これからはいろんなことに挑戦し支援していきたいと思います。

ディアコニアも他法人に置いて行かれないように役割を持って、取り組んでいきたいと思っています。



教えて！ディアコニアのXマス

♪ 礼拝はするの？

12月20日（金）10～11時
前半で礼拝を行ないます。森田哲史
チャプレンのお話です。

♪ 祝会はやるの？

利用者・ご家族と一緒にユニットで
昼食を頂くのが祝会です。

♪ 食事は、どんな料理？

クリスマスらしく彩り良く、主食に
握り寿司、主菜に肉類、副菜に苺な
どの果物を添えます。普通食と嚥下
食を準備します。

♪ プレゼントはあるの？

当日利用して下さる方全員に差し上げ
ます。女性会からカードを作成し
て頂き添えます。女性会の皆様に、
感謝致します。

♪ 今年のクリスマス…

名古屋めぐみ教会の小澤実紀さん
をお招きし、カンテレコンサートを行
います！

私たちの福祉村デイ体験 vol. 9

小久保秀樹施設長が初登場・・・

(一)

日時：6月30日（日）13：00～14：30
 場所：日本福音ルーテル清水教会・小鹿教会
 講師：まきばの家 施設長 小久保秀樹氏
 演題：「子どもの伴走者として」
 感想：23名の方にご出席いただきました。このよ
 うな中での伴走者として関わってくだ
 さる貴重なお働きに感謝し、神さまの祝福
 を心からお祈りしています。



デンマーク牧場の牛乳といぶきの作品の販売も人気でした。

(二)

日時：7月21日（日）10：30～12：00
 場所：日本福音ルーテル浜名教会
 講師：まきばの家 施設長 小久保秀樹氏
 演題：「子どもの伴走者として」
 感想：今年も、浜名教会に講師を派遣していただ
 き、福祉村デイの礼拝を守りました。施設長よ
 り、礼拝の中で、施設での子どもたちの様子や、
 スタッフのお働きについて伺いました。子ども
 たちの成長と現場の方々のお働きを、これから
 もお祈りしてまいります。

(三)

日時：9月8日（日）12：00～13：00
 場所：日本福音ルーテル静岡教会 音羽町礼拝所
 講師：まきばの家 施設長 小久保秀樹氏
 演題：「子どもの伴走者として」

感想：ニュースでも繰り返し聞く虐待、子ども
 たちも親たちも心の問題を抱えている。この
 ような中で子どもの伴走者として関わってくだ
 さる貴重なお働きに感謝し、神さまの祝福
 を心からお祈りしています。



(四)

日時：10月20日（日）14：30～17：00
 場所：日本福音ルーテル刈谷教会
 講師：ディアコニア 施設長 金高美江子氏
 演題：①「主に喜ばれる生き方」
 ②「神さまが選ばれた福祉の場所」
 感想：礼拝ではコヘレトの手紙3章1～15節が
 読まれ、「主に喜ばれる生き方」について奨
 励をいただきました。礼拝後集会室にて「神
 さまが選ばれた福祉の場所」をテーマに講演
 をいただきました。社会福祉法人デンマーク
 牧場福祉会のお働きと福祉村募金、認知症の
 方への対応技術、福祉村の今後について、わ
 かりやすくお話しくささいました。福祉村に
 ついて理解を深めるひとときとなりました。



福祉村のために、篤いお祈りと貴重な献金を心より感謝申し上げます

「福祉村募金」献金者（敬称略） 2019 年 7 月～2019 年 10 月

個人

千金町子[仁摩福音ルーテル] 平松英治[アッセンブリー] 堀川 悦[札幌] 藤井邦夫・貴子[宇部]
 角田 健[引退教職] 高野利夫[沼津] 小野エミコ、西野孝枝、宮崎典子、望月隆延、山本美智代
 [清水] 尾原須江、鈴木春江、芳賀直哉・美江、増田治子[小鹿] 池谷益代、伊藤七男・初枝、
 加藤敏明、宗 知信・美江、富島裕史、永井滋乃、原 宏・ふじ子、船城秀樹、宮武晴昭[静岡]
 大柴 潔、川村千代江、金高美江子、櫻井 隆・國江、杉本光子、内藤文子、沼野寿子、増田
 悦次・芙蓉子、水野喜朗・禮子[栄光] 明比輝代彦、山内浩子[掛川菊川] 鈴木敏雄、寺嶋豊司・
 文世[新霊山] 伊藤旭人、鈴木喜六、中村正子[浜松] 石田宏美、今井義雄・よし乃、小松康宏、
 杉浦佳子、福岡美恵子、船曳富久子[岡崎] 宮澤真理子[岡崎・刈谷] 朝倉照雅・しず江、安藤 毅、
 小栗正紀、加藤和代、亀井聖幸・美代子、木村 修、佐々部典子、佐々部康子、佐藤紘一郎・
 重子、竹川昌克・直子、中村京一郎・美穂子、野口勝彦、長谷川勝義・泰子、盛田義彦・順子、
 渡部久雄・さよ、匿名 5 件[みのり] 梅村亜恵、本田聡子[挙母] 伊賀佐與子、磯村久市・和子、
 鯉江文子、花城裕一郎[知多] 小澤周平・実紀、石川吏志・美代子、犬飼通之・佐智子、大野信雄・
 良子、小原春子、神崎 昇・悦子、岸 享子、木村敦子、黒野正信・春江、白井三枝子、杉浦
 良一、鈴木光治・貴美子、高田弘子、田村辰夫・勝子、鳥飼勝隆・豊子、永津浩哉・睦子、深谷
 昭治・節子、福本壽子、藤田房子、藤原 薫、宗像昭彦・玲子、安井則夫・芳子 [名古屋めぐみ]
 浅井道子、生駒順子、稲垣八重子、甲斐亜希、勝田周子、斎藤志げみ、内藤真実、中村瑞代、
 長谷川善造、古川のぞみ、松宮ひびき、松宮洋子、安田久夫・チヨ子、山下裕子 [高蔵寺]
 小川佳代子、小田博久・泉、神辺泰子、河村満恵、坂元のぶ江、佐藤祥一、羽賀敬子 [岐阜]
 秋田明子、秋田義彦、大場弘子、岡田敦子、齋藤幸二・末理子、柴田るみ子、鈴木輝一郎、千田
 知栄、田口道治・和子、安井順子[大垣]

団体

小城ルーテルこども園（佐賀）、静岡教会、浜名教会、浜松教会、古楽器演奏会（浜松教会）、
 知多教会、刈谷教会、堅信キャンプ礼拝献金、東海教区伝道セミナー礼拝献金、ふく茶

福祉村募金振込先（郵便局） 口座番号 00800-2-98186 福祉村委員会

2003 年デンマーク牧場福祉会『ディアコニア』（特養）の創設時に、東海教区の自己資金としての不足分を借りました。すぐに始まった返済の 17 年目がもうすぐ終わろうとしています。この間教区では心をひとつにして祈り献金が献げられてきました。教区を離れられても祈りに覚え献金を送って下さる牧師先生方、また連盟女性会の皆様、その他の教区外の皆様にも支えられています。本教会への返済は 2022 年で終わり～ゴールが見えてきました！！これからも宜しく願いいたします。（会計 櫻井國江）

※ 前号(64号)の訂正:2頁の一文に誤りがありました。「ノルウェーの人口は半分以下です」を「ノルウェーの人口は日本の約20分の1です」と訂正ください。

編集後記 日本はどうなるのでしょうかと、テレビの女性アナウンサーが言っていました、連続して襲来する台風による、いままでに経験したことのない強風と豪雨によって、東日本、北日本と広範囲にわたって大きな被害をこうむりました。テレビで伝えられる映像に、心が痛みます。早く復興への道が開かれますようにお祈りいたします。これから教会では、アドヴェントからクリスマスへと、暦が進んでいきます。世界の主であるキリストの慰めが、苦しみ、悲しむ人々の上に、強く、豊かに臨みますように。（T）